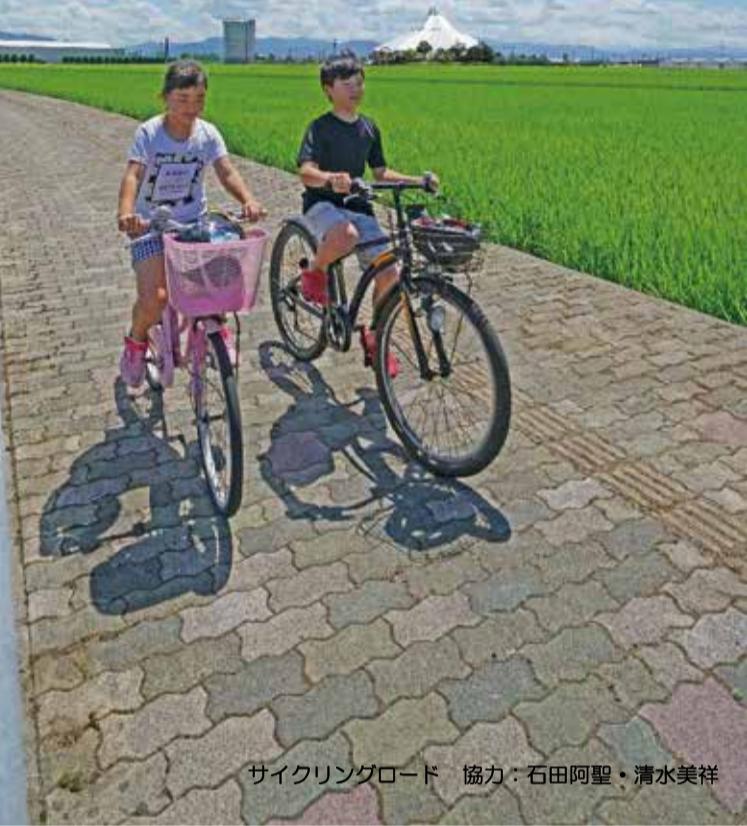


おおいしめぐり

史跡

- 史跡めぐりコース
- ① ゆりの里→岩座
所要時間=徒歩約20分
 - ② ゆりの里→振姫終焉地→馬場通り→オニヒバ
所要時間=徒歩約60分
 - ③ ゆりの里→銅鐸出土之地碑
板碑→汗かき地蔵
所要時間=徒歩約40分



サイクリングロード 協力：石田阿聖・清水美祥

⑤銅鐸(どうたく)

大石といえば銅鐸。井向では昔、土中から大小2個の銅鐸が発見されました。井ノ向1号銅鐸、井ノ向2号銅鐸(※文化庁デーバースの表記名)とともに国の重要文化財に指定されております。



現在は県外にあり、見ることはできませんが、この地には大石銅鐸出土の地として石碑が建てられています。

⑥板碑(いたび)



井向白山神社に県の文化財に指定されている板碑があります。表面には阿弥陀如来、觀音菩薩、勢至菩薩を表す文字(梵字)や文永11年(1274)という鎌倉時代の年号が刻まれています。年代のはっきりした板碑として県内最古と言われています。地域の人々の間では「天から降ってきた」と語り継がれています。

①オニヒバと馬場通り



木部西方寺にある紀倍神社境内にはオニヒバがあります。その昔、一面が芦原で鬼辺と呼ばれていたこの地に水鬼が出没し、それを退治したお坊さんが、胴を境内に埋めその上にヒバを植えたと伝えられています。当時のヒバは織田信長の兵火にかかり消失。その後に補植したものが現在のオニヒバです。

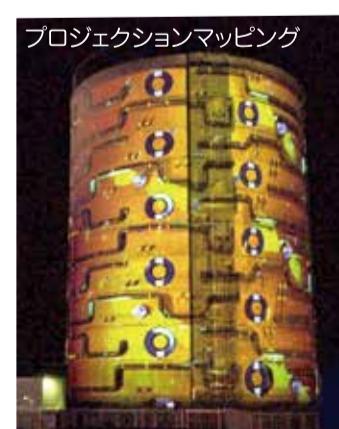
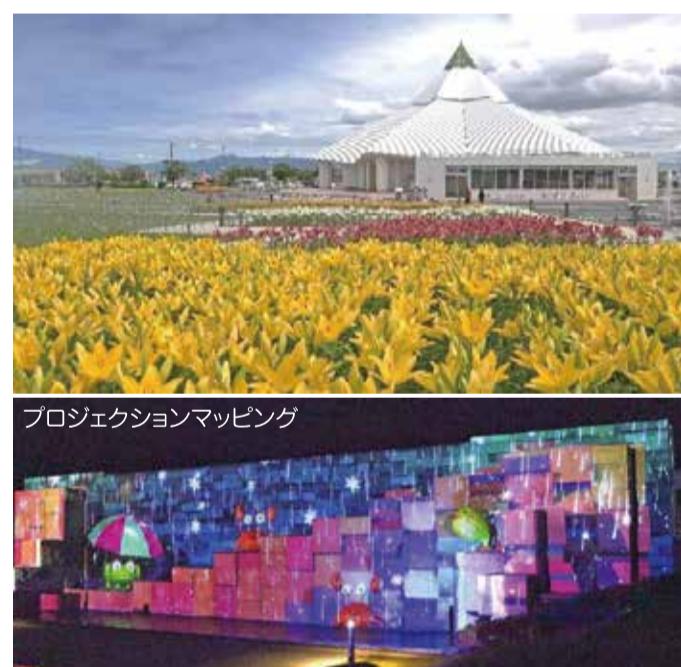


②振姫終焉の地(ふりひめしゅうえんのち)



姫王にある振姫終焉地。伝承によれば、男大迹王の御母振媛命がお亡くなりになるまでこの地「童子之城」に住んでいたと伝えられています。振媛の御神靈と仰ぐ神石は、昔から触ったりまたいだりすると怪我をするというので“けが石”とも言われています。その傍らにある孔のあいている小さな石は「馬つなぎ石」と言われています。

⑦ゆりの里公園



大石地区にはゆりの里公園があり、遊具やバーベキュー広場などがあります。5月頃からユリやバラなどの花が咲き誇り、満開時には辺り一面いい香りがします。ゆりの里には、「直売所ゆりいち」と「朝採りたまごダイニング LILY」を併設しており、散策した後は地元の野菜などを買ったり、軽食やコーヒーなどで一休みすることができます。夜には公園中イルミネーションが輝きます。地元の児童たちが作ったペットボトルはとても幻想的で、壁や貯水タンクに映し出されるプロジェクションマッピングは迫力満点です。

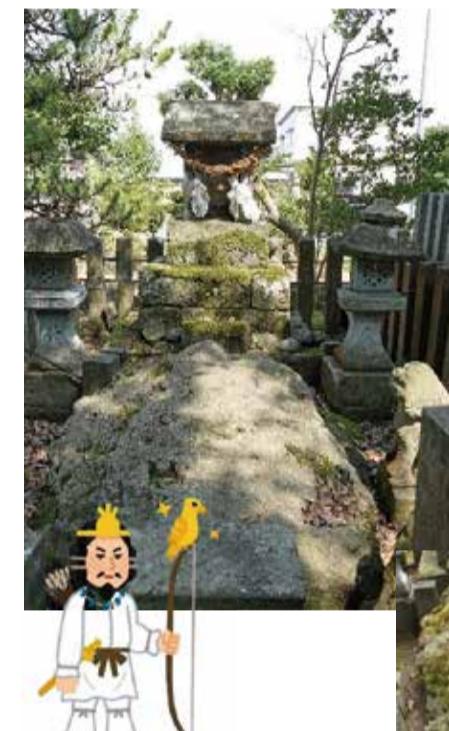


③汗かき地蔵



西長田駅の近くの三叉路にお堂があり、お地蔵さまが祀られています。村の人は昔から「汗かき地蔵」と呼んでいます。このお地蔵さまは昔から災難の前触れとして、必ず全身に油のような汗をかかれるそうです。昭和23年6月23日の福井地震の時もひどい汗をかいていたと言い伝えられています。

④岩座(いわくら)



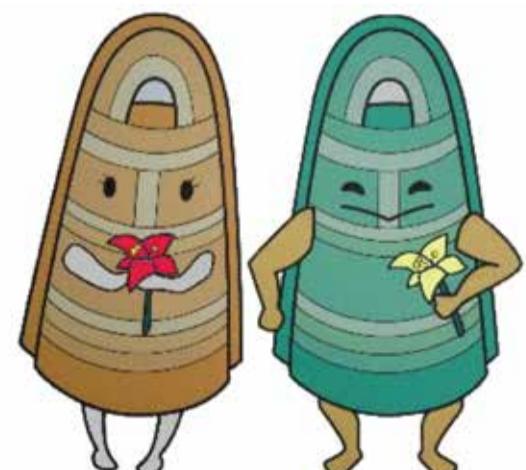
石塚神社の境内に大岩があり、縊体天皇がその昔、水害の惨禍から救済しようとこの岩に登って指揮されたと伝えられています。

この岩は神道考古学でいう「岩座」ではないかと考えられています。

～大石地区紹介～

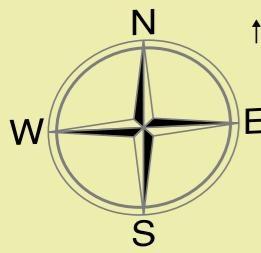
大石地区は春江北部に位置し、田園が広がるのどかな地域です。人口は4千人余りで世帯数は約1,300戸と小さい地区ですが、ユリやバラ、コスモスなど一年中花が咲き、訪れた人を楽しませてくれます。大石地区まちづくり協議会では、一年中花を楽しめる大石を目指し活動しています。そのほか、安心安全なまちづくりや福祉関係にも力を入れて取り組んでいます。今回紹介したもの以外にも史跡は多く、歴史を漂わせる場所もあります。

大石コミュニティセンターは大石地区の中心部分に位置しています。コミセン前庭の池には鯉が泳ぎ、ビオトープには様々な植物が生えています。鯉の池前には藤棚があるので、5月頃には満開の藤が見られます。



大石地区まちづくり協議会マスコットキャラクター
どうたくTWINS(ツインズ)
ゆりちゃん
たっくん

発行者(令和3年6月作成)
大石地区まちづくり協議会 総務・広報部会
〒919-0405
福井県坂井市春江町上小森6-12(大石コミュニティセンター内)
TEL・FAX 0776-72-0002



大石地区マップ

